

Q&A

(カテゴリー)

#004 麻酔、安楽死及び人道的エンドポイントについて

(質問)

#000002

問 21. 安楽死方法とは？

(回答)

実験動物の安楽死処置法（安楽死）とは、迅速かつ苦痛を伴わない安楽な死を意味します。一方で、安楽死後の試料採取や検索に障害とならないよう実験目的に沿うような方法を選択しなければなりません。また、重要なのは処置後の死の確認です。つまり呼吸停止及び心停止を確実に確かめなければなりません。安楽死の方法としては、大きく二つの方法があります。物理的方法と化学的方法です。前者は頸椎脱臼法や断頭法であり、後者は薬物を用いる方法です。具体的な方法については下記の URL を参照してください。

○東北大学における動物実験等に関する規程とその解説-実験動物の安楽死処置法

<http://www.clar.med.tohoku.ac.jp/data/kitei/13th/hoi9-13th.pdf>

○環境省「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2911.html

○動物の安楽死処置法全般については、下記文献は国際的なガイドとなるものです。

米国獣医師会 AVMA American Veterinary Medical Association 「動物の安楽死処置に関する指針 2013 年版 AVMA Guidelines for the Euthanasia of Animals: 2013 Edition」

<https://www.avma.org/KB/Policies/Documents/euthanasia.pdf>

○げっ歯類胎児・新生児については、日本実験動物医学会が発出した。「げっ歯類の胎児・新生児の鎮痛・麻酔および安楽死に関する声明（第2版、2015年）」が参考になります。

https://jalam.jp/htdocs/index.php?key=jonyq7toz-1209#_1209